

ご意見への回答

令和8年9月3日
図書館長

【件名】

福島県立図書館の選書について

【ご意見】

令和8年8月7日 福島市

新刊案内コーナーに展示されている次の本

- ①『アメリカ異世界冒険譚』¥6,000 →「アメリカの異世界」とは？
- ②『物語伝承論』¥5,200
- ③『李箱作品集』¥5,800 →「李箱」ってだれ？
- ④『ザ・カスタム・ハウス』¥5,000 →「カスタム・ハウス」とはなに？
- ⑤『Playground』¥4,500 →何だこれ？
- ⑥『ポルタリス 歴史を貫く精神』¥9,000 →「ポルタリス」とは何のこと？
- ⑦『ギー・ドゥボール全著作』¥12,000 →「ギー・ドゥボール」とはだれ？

図書館内の選考委員会で購入図書を選考・合議しているとのことですが、上記の本がどんな本で福島県民に読むチャンスがあると信じているのですか？

いずれも¥5,000～¥10,000と高額。

時勢に合わせた、おもねた本ばかり集めるのが県立図書館の役割 mission ではないことは理解できますが、あまりに県民意識とかけはなれていると思います。

研究者が読むないし蔵書するなら、図書館ではなく研究者が自分で購入すべき本ばかり。

少ない図書館購入予算の中から1冊ずつ吟味して、まるで「自分のお金の中から支出するなら、どうしてもこの本を蔵書に加えたいか？」と自問するような気持ちで選考してほしいものです。我々は、家族で¥5,000の夕食すら、食べるのに窮しています。

【回答】

図書館へのご意見ありがとうございます。

福島県立図書館では『福島県立図書館資料収集基本要綱』に基づき、資料収集調整委員会で資料を選定し、収集しています。資料を選定する上では、新聞の書評欄等に掲載された資料を参考にし、購入しているものも多数あります。

一般資料については、社会科学だけでなく、様々な分野の「基礎的、入門的なものから専門的な研究書に至るまで、できる限り幅広く収集」しておりますが、特に、市町村図書館で購入することが難しい専門書や全集などは高額なものが多く、市町村図書館からの要望に応えるためにも購入しております。このように、入門的な実用書の多くは市町村図書館で収集し、県立図書館では専門的な研究書や、調べるために役立つ資料、そして様々な視点で書かれた資料を多く収集するなど役割分担することで、図書館は知の拠点として県民の皆様へ幅広い内容の資料を提供しています。

①から⑦までの資料へのご質問につきましては、当館の蔵書検索端末やホームページの検索結果にある、「内容紹介」や「著者紹介」をご覧ください。

海外の著作は国内だけでなく、海外で評価された翻訳資料も選定しています。

なお、新着図書コーナーでは、新聞の書評欄に掲載された資料など話題の資料や、新書などの読みやすい資料は貸出となることが多いため、比較的専門書が残りやすい傾向があります。お探しの本がありましたら、職員におたずねください。

ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(担当：資料情報サービス部長 電話 024-535-3218)

※ 回答内容は、回答日現在の状況に基づくものです。